

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

京都府

行事名称	平成28年文化財防火運動合同消防訓練
実施期間・日時	平成28年1月26日(火) 9:30~10:00
実施場所	京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町60 西本願寺
主催者	京都市、西本願寺

■実施内容

訓練の想定

放火により西本願寺阿弥陀堂(国宝)の縁下から出火し、建物内部に燃焼拡大し、隣接する御影堂(国宝)にも延焼危険が迫っているとの想定。

訓練の内容

西本願寺職員(自衛消防隊)による火災発見、通報、初期消火(消火器、屋内消火栓、小型動力ポンプ、放水銃)、重要物品(模擬)の搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施。文化財防災マイスターによる初期消火(消火器)を実施。自衛消防隊、消防団、公設消防隊による一斉放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

西本願寺自衛消防隊・文化財防災マイスター	: 火災発見、119番通報、観光客の避難誘導、初期消火(訓練用消火器、屋内消火栓、小型動力ポンプ(1口)及び放水銃(4口)による放水活動)、文化財の搬出、負傷者の救出救護活動等
消防団	: 小型動力ポンプを活用して放水(1口放水)活動及び警戒整理活動を実施。
公設消防隊	: 消防隊等8隊、航空機1機が出動し、ヘリによる上空からの情報収集活動、文化財の搬出、負傷者の検索活動、放水(大型はしご車の搭乗放水2口放水及び水槽車の銃放水)活動を実施。
地元自主防災会(植柳、醒泉、醇風)	: 見学
本願寺中央幼稚園・西本願寺職員	: 見学

特に工夫した点

- 1 自衛消防隊による一連の初期対応(通報、避難誘導、初期消火(消火器、屋内消火栓、小型動力ポンプ、放水銃)及び重要物品の搬出並びに公設消防隊との連携)
- 2 文化財防災マイスターによる初期対応(初期消火活動)
- 3 自衛消防隊、消防団、公設消防隊による一斉放水(視閲者等に対し、航空機からの訓練風景をテレビジョン放映)※ヘリテレビ電送システム

問題点・課題

特になし。

その他

京都市では文化財防火デーの26日を中心に23日~29日の一週間を文化財防火運動とし、近年は世界遺産対象物において、消防局長視閲の大規模消防訓練を実施している。また、各消防署(分署)においてもそれぞれ独自に文化財社寺等における消防訓練や防火研修、街頭広報を実施している。消防団や自主防災会との合同訓練、近隣幼稚園、小学校の児童を防火行事に招待するなど、多くの方に文化財愛護思想の普及と防火防災意識の高揚を呼び掛けるため、今後も継続的に取り組むことが重要。

訓練風景

